

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 愛の家グループホーム土佐蓮池

ユニット名 1F

自己評価実施年月日 平成 19 年 11 月 17 日

記録者氏名 竹村 美紀

記録年月日 平成 19 年 11 月 25 日

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以下の理念をつくりあげてサービスを行っている。 我々は、 一、その人らしい、快適で穏やかなシルバーライフを常にサポートします。 一、心を込めた親切なサービスに努め、その心を磨き続けます。 一、さまざまな機会を通じて、地域の人々とのふれ合いを大切にします。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットのスタッフルームにかかげ、目につくようにしている。管理者と職員で理念を毎日のように唱え、実践するよう取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の方々との関わりの中で（散歩時、推進会議時等）理解して頂くようお話している	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設の庭作りの時などに花の苗を頂いたり、花を差し上げたり、施設独自のカレンダーをもってご挨拶に行ったり努力している	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近くの保育園・小学校などの運動会や行事、地域の祭り等に参加し、交流している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近くの公園の草引きをさせて頂こうと計画していたが、当日ホームの事情で出来なかった	○	今後も地域の方々に貢献出来るよう取り組む。 (草引き、雑巾縫い等)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	建物についての改善は出来ないが、建物を工夫して活用している。(居室・フロー等)		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用料についてのご意見を頂くが、それについてはサービス内容の説明にて理解を得ている。行事等のご意見を頂き、サービス向上に生かしている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ある時は出向かせて頂き、また時にはお電話等で指導して頂いたりと質の向上に努めている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前には活用しているご利用者様がおられたが、現在は該当される方がおられない。今後もニーズに応じてご支援して行きたい		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待については、施設職員一丸となって注意し防止に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	大切なものの扱いや、解約時の経費面等、不安や疑問のお尋ねに対して十分な説明をさせて頂き、理解や納得されるよう図っている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満や苦情を表せる機会は設けている。反映できるようにしている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	お小遣い出納帳は毎月末で〆切、ご家族へコピーをして送らせて頂いている。印やサインをもらってホームへ返して頂いている。ご利用者様の様子は1回/3ヶ月で報告している	○ 今後も、ご入居様個人の様子がご家族様に詳しくわかるよう〈ほほえみレター〉や〈蓮池ふれあい広場〉を1回/月で発送し続けたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置や、家族会等で意見をお聞かせ頂けるようにし、対応させて頂いている	○ 時間を要するものもあって、一部ご意見を反映できていない部分があるが、反映できるよう取組んでいきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会、ミーティング等で職員より意見や提案を頂き、見直しや改善に努めている	○ 職員が意見や提案がしやすいように、コミュニケーションをとっていく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要時には4人体制にして職員を増員し、要望にお答え出来るよう調整に努めている	○ ご家族様と昼食を共にする行事などは、大変喜んで頂いているので、今後も続けて行けるよう努力したい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動に関しては、出来るだけ利用者がダメージを受けないよう最小限に抑えるようにしている		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画を立てて研修を受ける機会を確保している	○	働きながらトレーニング出来るよう取組んでいきたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全くしていないわけではないが、この働きかけの取り組みは少ない	○	もっと交流できる機会を探し、見つけてサービスの質の向上のため取組んでいく
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減に努めているが、十分とは言えない	○	話し合いの時をもち、工夫や環境を作っていきたい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の働きを認め、評価も行っている。資格の取得等進め、案内等も提供している	○	向上心が持てるよう励まし続け努力していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	困っている事、不安な事、ご要望等は相談の時からお尋ねし、受けとめ対応するよう努力している	○ 排泄に関して、パットから介助へ、食事に関して、形態等受け止めて安心感を持って頂いている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	同上。 努力し、安心して頂いている	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族及び関係者の方々から情報を得、支援すべきニーズを見極め対応に努めている	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族に頻回に来訪して頂いたり、同じ地域のお知り合いの方等おられ、他のユニットからも遊びに来て頂くなど工夫している	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の仕方や漬け物の作り方などを教えて頂き、日々の献立に生かしたり、花壇を一緒に作ったりすることで個々の関わりを大切にしている	○ 庭作りなどを通して、もう少し関わりを深くもっていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	電話や面会時などの機会には、連絡・相談を常に行い、ご家族の心配事や意向をくみとれるよう心掛けている。また、本人に変化がみられる際には、その都度細やかな連絡を電話や手紙を通じて知らせている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	連絡の取れないご家族もあり、本人との関係に深く立ち入ることが困難な方もおいでるが、できるだけ本人の思いをくみとり、安心して頂けるよう努めている。また、電話や手紙でのご家族への働きかけは行なっている	○	面会に来やすい雰囲気づくり 現在行なっているご家族を呼んでの敬老会の他にも、母の日や誕生会、食事会などを企画していけたらと思う
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買物や美容院など、昔からのいきつけの店・場所に時々お連れし、触れ合い懐かしむ機会を作っている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	苦手な入居者様とも、誕生日会やレクリエーション等に参加して頂き、楽しい時間を過ごすことで少しずつ歩みよっていけるよう努めている。また、席の位置や関わり方にも注意している		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院などで退居になってしまった方についても、困ったことがあればいつでも連絡・相談をうけることができるような態勢をとっている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段より、会話を多く持つ機会を大切にし、反応をさぐりながら聞きだせるよう努力している	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族様の面会時、また、気になった事は電話などで会話し、その方の性格や若い頃からの事を把握している	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1人1人の体調や精神的な変化を把握し、1日1日のリズムを刻めるよう、随時声かけし尊重できるよう努めている。また、残存能力を生かせるよう気を配っている	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族様、本人の意見を聞いたうえで、スタッフ間でその方にとってどうなのか。月に1回カンファレンスを開きあらゆる方面から検討している。また、カンファレンス以外でも常に意見交換を行なっている	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入院・退院及び状態の変化が見られた際には、随時話し合いを持ち、今後のケアの方向について情報交換、プランの計画に生かしている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	普段の暮らしぶりや変化、ケアプランについてできるだけ細かく記録することで情報の共有、見直しに反映させている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	他の法人内のグループホームでの運動会の参加させていただき等、柔軟な支援を行っている	○	近隣のホームでのイベントや行事に参加させていただいたり、当ホームへも参加して頂く等、要望に応じていきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	文化的な事についてはボランティアをよく利用させていただき（唄・絵画展・菊花展等）、支援している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご家族やご本人の意向及び必要に応じて理美容を利用し、支援に努めている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は必要がなく協働していないが、今後必要性が出てきた時には協働して取り組みたい		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週一回の往診をほぼ全員がうけている。緊急時には24時間の対応・連絡が可能で、その都度指示をうけている。また、他の医療機関にかかっている方についても、本人・家族希望時には、すぐ診て頂けるような体制をとっている		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医の診察が必要な方については、ご家族に必要性を説明したうえで、受診及び連絡することで適宜、相談・治療及び支援ができています		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	3週間に1度訪問看護師さんが来て下さっている。しかしホームには週に1回来て下さっており、随時電話などでも気軽に相談できる関係を築いている。またホームにも看護師がおり、健康管理に努めている		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時、詳しい状態の説明をすることで、治療・リハビリをするにあたっての情報を提供している。また、随時面会に行くことで、看護師や医師との情報交換していくことで早期に受け入れる対応ができる体制をとっている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	主治医や看護師より詳しい状態の説明を受けた上で、ご家族とスタッフを含めた話し合いを繰り返し行い、治療・ケアの方針を確認しあっている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師や看護師との情報交換を密に行い、よりよい生活が送れるよう支援している		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	その方の詳しい身体的・精神的状態や対応の仕方など情報交換をしっかりと行なうことで、混乱の少ない環境づくりに努め、ダメージを最小限にできるよう工夫している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	その方の性格やプライドを尊重し、傷つけることのないような声かけ・配慮を行い、個々にあった対応を行なっている		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	言いやすい雰囲気づくりに努め、その方にあった声かけや説明・対応を行うことで、不安のない安心した日々を送れるよう支援している		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の暮らしの中でも、本人の希望を常に確認し、苦痛のないペースに合った支援が行えるよう働きかけを行っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問の美容院や、いつも行っている行きつけの美容院など、本人の望む店に予約し、送迎している。また、出掛ける前のおしゃれができるよう早めに声をかけるよう努めている	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	スタッフと一緒に準備や食事・片付けを行うことで話題づくりにもなり、できる事への支援・自信や役割づくりにもつながっている。また、時々自分の好きなものを買ってきたり、嫌いなものを差しかえるなどの対応も行っている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	主治医と健康面の相談をしながら、できるだけ本人の好むように提供し、買物に行ったりしている。また、ご家族などからのお土産はおやつ時等に提供している。	
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェックを行うことにより、本人の状態に応じた誘導を行っている。また、紙パンツから布パンツへ変更することで本人からの訴えも増え、かぶれ等の症状も改善された。また、清拭を行うことで臭いの軽減もはかれた	○ 拒否少なく表情も良くなっており、今後も継続していきたい
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間など、せかしたりすることなく、本人のペースにて入浴をゆっくりして頂いている。拒否される方についても、声かけに工夫を行いできるだけ多く入浴して頂けるよう支援している	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の体調や浮腫など、生活のペースに応じて起床・入床・横になる等の個人に合わせた対応を行っている。また、夜間よく眠れるよう日中の活動性を高めたり、足浴・温かい飲み物の提供も行っている	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その方にできることは、無理のない程度に好きな事や得意なことを中心に手伝って頂いている。また、個々の好きなもののカラオケや買物、ドライブ等外出も積極的に行っている	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にホームで預かっているが、本人が希望する場合は、ご家族様にしまいこんで分からなくなったりする可能性があることを説明し、了解を頂いたうえで所持して頂いている。買物などの際には、その中より使えるよう一緒に付き添い支援行っている	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個々の希望があれば、買物や喫茶店でのお茶やドライブ等外出し、気分転換をはかる機会を作っている	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望があった場合、ご家族に相談し、一緒に外出することで協力して頂き、外出の機会を増やしている	
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人希望時には、いつでも電話や手紙を出せるよう支援している。また、連絡のとれないご家族には、本人及びスタッフからのアプローチもしているが、連絡を頂けない場合もある	


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	できるだけ家庭的な雰囲気づくりにつとめ、訪問者がゆっくりと過ごせる空間をソファなどを使用し、つくっている。また、知人・友人の面会は事前にご家族の了解を得ている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修や勉強会に積極的に全スタッフ対象に参加し、行けなかったスタッフにも周到徹底し知識を深めている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、フロア入口にある鍵は常に開放し、夜間のみ施錠している。また、1人で外出しそうな方については常に所在確認を行っている		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	個人のペースや性格にあわせながら、所在確認や見守り及び庭など、一緒にさりげなく付き添い、(車や転倒)安全面に注意をしている。夜間は定時及び随時の巡視を行っている	○	入居者様の苦痛・ストレスにならないよう配慮していく
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人の希望でご家族様が持ち込まれる薬などあるが、主治医に相談し、問題なければ預かることはせず、危険と思われるものについては、ご家族に話させて頂きお預かりしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	火災については、消防署に来て頂き、避難訓練を行い緊急時に備えている。また、事故報告書・ヒヤリハットを生かし、カンファレンス等で話し合い対策を考えている。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時などマニュアルを作成し、全スタッフが置き場所を把握し、対応できるようにしている。また、緊急連絡網を作成し、スムーズに行動できるよう備えている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム全体や各ユニット毎の消防避難訓練を行っている。災害時の事も、地域、行政と連絡し協力を得られるようにしている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	転倒・病気などによる生活の制限をできる限り行うことなく、医師の診察、指示をうけながら楽しく暮らせるよう、ご家族の希望をとり入れながら対応策を話し合っている	○	出来ること、出来そうな事の見極めを行い、可能性をさぐっていけるよう、ご家族との話し合いの機会をできるだけ多くもっていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の状態をバイタルチェックとともに把握し小さな変化の発見、気づきができるよう観察を常に行っている。また、変化がみられる際には、主治医にそのつど連絡し支持を仰いでいる	○	個人の既往歴や、普段の状態を認識し、異状の早期発見に努めていきたい。また、異状時の対応について全員に周到徹底できるようにしていきたい
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	複数のスタッフがセットに関わり、知識を共有している。また、チェックは2人以上で行い回数を増やす。読み上げることで誤薬を防いでいる	○	服用している薬の名前や副作用を十分全員が理解していけるよう支援していきたい。また、内容についても、主治医と相談し、その都度調整していく
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄の時間・量・状態の記録を行っている。また薬に頼らず、食事の工夫や水分、身体を動かすよう声かけを行いながら、どうしても困難な場合は主治医に相談し服薬を行っている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時、入床時及び食後の口腔ケアの声かけ、支援を行うことで口腔内の状態の把握に努めている。また、状態に応じて歯科受診などの支援も行っている		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量のチェックを行いながら、不足している部分への声かけ及び、調理の仕方などで工夫を行っている。また、のみこみや咀嚼、病気に対して味つけの工夫や形態（キザミ・ミキサー食）にも個々にあったものを提供している	○	好き嫌いがあっても、バランスよく、元気に暮らせるよう調理の工夫をしていく。また、食事が苦痛とならないよう楽しく食事して頂けるような工夫をしていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザの予防接種を毎年ほぼ全員が行っている。また、ノロウイルス等予防のため、毎日、フロア・トイレの消毒を行うと共に、朝、夕の汚物のごみ出しを行っている	○	感染予防マニュアルをもとに知識・危機感をもって予防していきたい
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	お刺身等は鮮魚店から一人前ずつパックにセットしていただき、ホームでは扱わないようにしている。調理器具や布巾等もジアノックや熱湯などで消毒をしている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中、玄関を開放、誰もが訪問しやすい状況にしている。また、玄関周りに花を多く植えたりすることで季節感を出し、家庭的な雰囲気をつくる工夫をしている	○	建物の構造上困難な部分もあるが、できるだけ入りやすい雰囲気づくりにつとめていきたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や壁面などをとり入れ、気持ちのいい空間作り、くつろげる場所をつくっている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの位置を工夫することで、居場所作りに努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	家具について、積極的に持ちこみをお願いして いるが、実際最小限のタンス・ベッド・衣装 ケースのみの持ちこみで生活されている方 が多い	○	持ち込みの声かけを続けていくとともに、写 真を飾るなど工夫をしていきたい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	エアコンなどのフィルターを掃除したう えで、随時換気・温度調整を行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	手すりの設置や、シャワーチェアをとり 入れ、安全かつ快適に暮らせる環境をとり 入れている。また、ベッドの高さを調整 したり、すぐに座って休憩できるようベン チ等も多く設置している	○	浴室にはリフトの設置を予定しており、全 員に快適に入浴して頂けるよう工夫して いる
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	トイレ・自室等、本人に分かりやすい目 印をつけ（のれんなど）たり、日付やタ ンスに分かりやすく何が入っているかを 貼ったりと工夫している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽 しんだり、活動できるように活かして いる	畑作りをし、（芋・大根・南瓜・西瓜・ 茄子etc）を入居者と一緒に収穫して楽 しみにしている。また、花壇作りにも精 をだしている	○	畑の横にも花壇を作る予定

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 愛の家グループホーム土佐蓮池

ユニット名 2F

自己評価実施年月日 平成 19 年 11 月 20 日

記録者氏名 清水 千佳

記録年月日 平成 19 年 11 月 28 日

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以下の理念をつくりあげてサービスを行っている。 我々は、 一、その人らしい、快適で穏やかなシルバーライフを常にサポートします。 一、心を込めた親切なサービスに努め、その心を磨き続けます。 一、さまざまな機会を通じて、地域の人々とのふれ合いを大切にします。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットのスタッフルームにかかげ、目につくようにしている。管理者と職員で理念を毎日のように唱え、実践するよう取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の方々との関わりの中で（散歩時、推進会議時等）理解して頂くようお話している	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設の庭作りの時などに花の苗を頂いたり、花を差し上げたり、施設独自のカレンダーをもってご挨拶に行ったり努力している	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近くの保育園・小学校などの運動会や行事、地域の祭り等に参加し、交流している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近くの公園の草引きをさせて頂こうと計画していたが、当日ホームの事情で出来なかった	○	今後も地域の方々に貢献出来るよう取り組む。 (草引き、雑巾縫い等)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	建物についての改善は出来ないが、建物を工夫して活用している。(居室・フロー等)		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用料についてのご意見を頂くが、それについてはサービス内容の説明にて理解を得ている。行事等のご意見を頂き、サービス向上に生かしている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ある時は出向かせて頂き、また時にはお電話等で指導して頂いたりと質の向上に努めている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前には活用しているご利用者様がおられたが、現在は該当される方がおられない。今後もニーズに応じてご支援して行きたい		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については、施設職員一丸となって注意し防止に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	大切なものの扱いや、解約時の経費面等、不安や疑問のお尋ねに対して十分な説明をさせて頂き、理解や納得されるよう図っている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満や苦情を表せる機会は設けている。反映できるようにしている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	お小遣い出納帳は毎月末で〆切、ご家族へコピーをして送らせて頂いている。印やサインをもらってホームへ返して頂いている。ご利用者様の様子は1回/3ヶ月で報告している	○ 今後も、ご入居様個人の様子がご家族様に詳しくわかるよう〈ほほえみレター〉や〈蓮池ふれあい広場〉を1回/月で発送し続けたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置や、家族会等で意見をお聞かせ頂けるようにし、対応させて頂いている	○ 時間を要するものもあって、一部ご意見を反映できていない部分があるが、反映できるよう取り組んでいきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会、ミーティング等で職員より意見や提案を頂き、見直しや改善に努めている	○ 職員が意見や提案がしやすいように、コミュニケーションをとっていく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要時には4人体制にして職員を増員し、要望にお答え出来るよう調整に努めている	○ ご家族様と昼食を共にする行事などは、大変喜んで頂いているので、今後も続けて行けるよう努力したい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動に関しては、出来るだけ利用者がダメージを受けないよう最小限に抑えるようにしている		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画を立てて研修を受ける機会を確保している	○	働きながらトレーニング出来るよう取組んでいきたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全くしていないわけではないが、この働きかけの取り組みは少ない	○	もっと交流できる機会を探し、見つけてサービスの質の向上のため取組んでいく
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減に努めているが、十分とは言えない	○	話し合いの時をもち、工夫や環境を作っていく
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の働きを認め、評価も行っている。資格の取得等進め、案内等も提供している	○	向上心が持てるよう励まし続け努力していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	困っている事、不安な事、ご要望等は相談の時からお尋ねし、受けとめ対応するよう努力している	○ 排泄に関して、パットから介助へ、食事に関して、形態等受け止めて介助し安心感を持って頂いている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回面談から、ご利用者に対しての困りごと等は十分に話を聞かせて頂き対応しているため安心して頂いている	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族及び関係者の方々から情報を得、支援すべきニーズを見極め対応に努めている	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族に頻りに来訪して頂いたり、同じ地域から入居されているお知り合いの方等おられ、他のユニットからも遊びに来て頂くなど工夫している	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の情報を把握し、経験や知識にもとづいて、畑など指導してもらったり、地域の事など教えて頂いたり、悲しかった戦争の話、もうけた話など共感して過ごさせて頂いている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話などで家族の要望や悩みを聞いたり、ホーム側からも楽しかった事や喜んだ事を話し合っている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	年に数回の家族会と敬老の日の食事会を行っている。又、家族等、面会に訪れた際には近況など話し合っている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の馴染みの場には、ご本人、ご家族と話し合い外出したり、ドライブの時も近くに行かれた際は地元の話がされたりしている	○	ホームに入られ、一度も自宅に帰られたりされていない方に対し、ご家族と話し合い、馴染みの場所などに訪れたいと思っている
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクや手伝い等、一緒に出来る様に心掛けていくとともに、手伝い等が困難な方に対してのフォローも行っている	○	認知症の進行や、ご本人の状態の変化などから生じる新しい関係等に気を配っていく
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された方（入院など）への訪問は、ご家族との話し合いによって訪問したりしている	○	電話や手紙なども用いて、連絡を取っていこうと思う

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりとの接する時間を少しでも多くとるように努めている。困難な方にはそれに近づけるためにはと、スタッフ間で話し合ったり、ご家族と話し検討している	○ 希望が言えている方に対しては、対応を行っているが、困難な方に対しては今まで以上に目を向けていきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族に話を聞いたりし、その人らしい生活を提供できるように努めている	○ ホームに来られて自宅に帰れていない方が、地元に行けるようにご家族と話し合い、支援していきたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとり向き合う時間をとるようにし、心身状態の把握に努めている	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族に意向を聞き、本人の要望を聞いて、それを元に月1回のケアカンファレンスを行い、介護計画を作成している	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態に変化が生じた場合は家族に相談し、スタッフ間で話し合い、計画見直しを行って作成している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の気づき、様子等を記録し、スタッフとの話し合いを通じて見直しを行っている。又、他のフロアとの意見交換を行っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	他の法人内のグループホームでの運動会に参加させていただき等、柔軟な支援を行っている	○	近隣のホームでのイベントや行事に参加させて頂いたり、当ホームへも参加して頂く等、要望に応じていきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	文化的な事についてはボランティアをよく利用させていただき、(唄・絵画展・菊花展等)支援している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご家族や本人の意向及び必要に応じて理美容等をも利用し、支援に努めている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は必要がなく協働していないが、今後必要性が出てきた時には協働して取り組みたい		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	スタッフにも、認知症に対しての勉強会等に進んで参加出来るよう取り組みたい
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	終末期を行う場合には、ご家族・かかりつけ医・スタッフ・訪問看護と話し合い行っていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の希望に応じた髪型。理髪店に行き、服も利用者と一緒買い物支援を行う。また、ご家族にも相談し、その利用者の好みにあった服を持って来て頂いている	○ 化粧品等持っている利用者はあるが、使用されている方は少なく、化粧が出来る様に支援していきたい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台拭き、食器洗いを希望者が行っている。各個人の好き嫌いを把握し、また出来る限り本人で食べて頂き、できない所を支援している	○ 食事の準備にも参加出来るようにもっていきたい
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人、またはご家族等に以前好んでいた物を聞き、本人の希望に応じている	
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレ誘導は時間を決めるのではなく、各個人に合った時間でトイレ誘導を行い、排泄出来るように努めている	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の希望を本人に聞いたりし、入浴拒否の方にも無理強いはいしない	○ 以前から入浴を好まない方にも入浴が楽しめる(習慣になる)ように支援したい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の自由に応じて自室で過ごしていただく。昼の活動を上げ、夜間の安眠に努めている	○	日中、リビングなどで短時間でも横になったり、足を伸ばすスペースを用いたい
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や食器洗い、洗濯など参加できる方、希望される方には協力してもらっている	○	日用品や食材などの買出しなどにも参加してもらおう
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出や買い物などで希望される方には、ご自身で支払い等できるよう支援している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人希望にて、散歩、店（本屋・洋服店）などに出かけている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望を聞き、外出の機会をもうけている	○	外泊（温泉旅行など）も考えていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族とも連絡をとり、本人の希望があるとき、電話をしている。利用者が書かれた手紙をスタッフが投函している	○	時候の挨拶状（暑中見舞いや年賀状）なども取り入れていきたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者が来て下さった際には、いつでも気軽に訪問して頂くように心掛けている	○	訪問者との気がねない場所を提供したい
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	歩行不安定な方にも、いつも座って頂くのではなく自由に歩いて頂き、見守り対応を行っている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニット出入り口の鍵は、以前利用者がエレベーターに閉じ込められておられたり、ユニット入口の鍵を希望されているご家族もいるため、スタッフが目の行き届かない時には鍵をかけている事もある	○	スタッフの目の行き届く日には、少しでも多く開けている時間を増やしていくよう努めたい
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ同士の連絡を取り合うとともに、記録や他の利用者の介助を行っている際にも常に見守りを行い、安全に配慮している	○	居室でも長い時間過ごされている利用者についても、プライバシーに配慮しながら、見守り、声掛けをより一層全スタッフで取組んでいきたい


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品類は、スタッフルームの保管庫に鍵をかけ対応している。異食行為の方がいるため、洗剤等は保管場所に鍵をする	○	全利用者の方が使用されている手洗い石鹸の場所を考えていきたい
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止を防ぐ事のために日頃からスタッフ間で話し合いを行っている。ホームでの避難訓練を定期的に行っている。	○	講習、勉強会にも積極的に参加していきたい
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全スタッフ定期的に救急法を受けている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム全体や各ユニット毎の消防避難訓練を行っている。災害時の事も、地域、行政と連絡し協力を得られるようにしている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族には状態の変化、気づきを随時話し合って対応を行う		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の食事量、排尿、排便チェック、バイタルチェック、表情などの小さな異変にも気づきスタッフ同士話し合い看護師、担当医に相談している	○	全スタッフが少しの変化にも気づき排便の有無だけでなく状態にも見落としなく、又表情の変化、体温等にも気づけるように取り組んでいく
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	リーダーが薬のセットをし、毎食後個人別の入れ物に入れる際にもチェックを行う。服薬時には2名にて確認を行い利用者本人の前でも名前を読み上げる	○	スタッフ全員が薬の内容を理解していきたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日排便チェックを行い便秘が続いている方には緩下剤を服用している。又、水分チェック、体操、腹部マッサージなども行う		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行っている。夜間には義歯を洗浄液に浸けている	○	自分で口腔ケアを行っている方への声掛け、洗浄を行ってほしい
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事量を毎食チェックを行い、水分むせ込みの方には、茶ゼリー、トロミで対応し脱水症状をおこしやすい方にはスポーツドリンクにて対応を行う。又、食事は栄養士によってバランスの取れた、各個人のカロリーに合わせたメニューを行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	職員側も感染に注意し、又職員が感染した場合には、すみやかに連絡し休んでいただく。外部からの感染を持ち込まないようにするため外出から帰った後はうがいや手洗いをを行う		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	お刺身等は鮮魚店から一人前ずつパックにセットしていただき、ホームでは扱わないようにしている。調理器具や布巾等もジアノックや熱湯などで消毒をしている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりに花や野菜などを植えている時など近隣の人達と話をしたり、挨拶などを行っている	○	天候の良い日には外に出てお茶を飲んだり、近隣の人達とも楽しく話し合うスペースを作っていきたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング、廊下等にも季節感ある壁画や花を飾り季節を感じて頂く。又、壁画作りにも利用者が参加されている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>82</p> <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>3人掛けのソファで利用者同士話をしたり、1人でゆったりと座れるソファを置いている</p>	<p>○</p>	<p>畳にゆっくりと座れる空間を考えている</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室については常に家族と利用者と相談し、使い 慣れた家具を持ってきて頂き、新しい物を購入す る際には利用者と一緒に買いに行く		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気は常に行い、天気の良い日は、窓を開けてい る。又、温度調節も温度設定し各個人に合わせて 調節している。エアコンの掃除も定期的に行って いる		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	廊下、リビング、浴室に手すりをつけたり歩行困 難な方にはシャワーチェアで対応を行っている	○	浴室のリフトを考えている
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	トイレ、自室等には標識を掛けタンスには何が 入っているかをラベルを貼って中身を分かりやす くしている。又、日々の生活の中では日替りカレ ンダーや食事のメニューを書いたものを壁にかけ ている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	畑、花壇作りを利用者と相談しながら行っている	○	建物の南側の広い場所に花壇を作りテーブル、椅 子等を置き、お茶を飲める空間を作っていきたい

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

高齢者、その人を尊び、大切にし尊重してケアに取り組んでいます。栄養士が作るバランスのとれた献立による食生活、隣接している診療所のすみやかな対応など事業所

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 愛の家グループホーム土佐蓮池

ユニット名 3F

自己評価実施年月日 平成 19 年 11 月 17 日

記録者氏名 川口 令子

記録年月日 平成 19 年 11 月 25 日

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以下の理念をつくりあげてサービスを行っている。 我々は、 一、その人らしい、快適で穏やかなシルバーライフを常にサポートします。 一、心を込めた親切なサービスに努め、その心を磨き続けます。 一、さまざまな機会を通じて、地域の人々とのふれ合いを大切にします。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットのスタッフルームにかかげ、目につくようにしている。管理者と職員で理念を毎日のように唱え、実践するよう取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の方々との関わりの中で（散歩時、推進会議時）理解して頂くようお話している	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設の庭作りの時などに花の苗を頂いたり、花を差し上げたり、施設独自のカレンダーをもってご挨拶に行ったり努力している	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近くの保育園・小学校などの運動会や行事、地域の祭り等に参加し、交流している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近くの公園の草引きをさせて頂こうと計画していたが、当日ホームの事情で出来なかった	○	今後も地域の方々に貢献出来るよう取り組む。 (草引き、雑巾縫い等)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	建物についての改善は出来ないが、建物を工夫して活用している。(居室・フロー等)		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用料についてのご意見を頂くが、それについてはサービス内容の説明にて理解を得ている。行事等のご意見を頂き、サービス向上に生かしている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ある時は出向かせて頂き、また時にはお電話等で指導して頂いたりと質の向上に努めている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前には活用しているご利用者様がおられたが、現在は該当される方がおられない。今後もニーズに応じてご支援して行きたい		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については、施設職員一丸となって注意し防止に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	大切なものの扱いや、解約時の経費面等、不安や疑問のお尋ねに対して十分な説明をさせて頂き、理解や納得されるよう図っている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満や苦情を表せる機会は設けている。反映できるようにしている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	お小遣い出納帳は毎月末で〆切、ご家族へコピーをして送らせて頂いている。印やサインをもらってホームへ返して頂いている。ご利用者の様子は1回/3ヶ月で報告している	○ 今後も、ご入居様個人の様子がご家族様に詳しくわかるよう〈ほほえみレター〉や〈蓮池ふれあい広場〉を1回/月で発送し続けたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置や、家族会等で意見をお聞かせ頂けるようにし、対応させて頂いている	○ 時間を要するものもあって、一部ご意見を反映できていない部分があるが、反映できるよう取組んでいきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会、ミーティング等で職員より意見や提案を頂き、見直しや改善に努めている	○ 職員が意見や提案がしやすいように、コミュニケーションをとっていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要時には4人体制にして職員を増員し、要望にお答え出来るよう調整に努めている	○	ご家族様と昼食を共にする行事などは、大変喜んで頂いているので、今後も続けて行けるよう努力したい
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動に関しては、出来るだけ利用者がダメージを受けないよう最小限に抑えるようにしている		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画を立てて研修を受ける機会を確保している	○	働きながらトレーニング出来るよう取組んでいきたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全くしていないわけではないが、この働きかけの取り組みは少ない	○	もっと交流できる機会を探し、見つけてサービスの質の向上のため取組んでいく
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減に努めているが、十分とは言えない	○	話し合いの時をもち、工夫や環境を作っていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>職員の働きを認め、評価も行っている。資格の取得等進め、案内等も提供している</p>	○	向上心が持てるよう励まし続け努力していく
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>困っている事、不安な事、ご要望等は相談の時からお尋ねし、受けとめ対応するよう努力している</p>	○	排泄に関して、パットから介助へ、食事に関して、形態等受け止めて安心感を持って頂いている
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>同上。 努力し、安心して頂いている</p>		
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>ご本人、ご家族及び関係者の方々から情報を得、支援すべきニーズを見極め対応に努めている</p>		
26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>ご家族に頻回に来訪して頂いたり、同じ地域のお知り合いの方等おられ、他のユニットからも遊びに来て頂くなど工夫している</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	○	その方らしい考え方や希望を取り入れ、趣味を持っていただくことではりのある生活を楽しんでいただきたい。(絵・習字・音楽など)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	○	面会時には、ご本人の様子を伝え、安心していただき。心配事など、気がかりな事を聞かせていただき、今後の支援に生かす
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	○	スタッフ手書きのおたよりを、出来れば毎月1回実施し、ご本人の生活ぶりを細かく伝えて、ご家族に安心していただき面会にきていただけるよう、雰囲気作りに今以上に努める
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	○	大切な方のお見舞い。以前、暮らしていた近隣の場所に行ってみたい等の希望をかなえる支援をしていきたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	○	お食事をされる席を時々移動したり、全員で一緒のテーブルを囲む機会を作るなど、利用者同士が多く交流できるよう工夫している
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	○	退居された後でも、困った事があれば相談していただけるような態勢をとっていく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話、生活の中で、思っていることなどを気軽に話せるよう関係を築いて、ご本人の思いや淋しさを受けとめ、把握に努めている	○	スタッフと個人的な話しをゆっくりできる時間を作り、いつもは言いにくい悩みなどを遠慮せず話していただける機会を作る
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントでは、わかりにくい細かい部分、性格、好き嫌い、趣味（楽しみごと）などを知り、支援に生かしている	○	ご家族が面会に見えた時など、以前の生活ぶりなどお伺いすると、今の様子と一致する部分など新しい発見があり、その方らしさを大切にできる
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の生活を共に過ごすことで、その方の生活のペースや心身の状態を把握し、その方に出来ること、支援が必要と思われる事を見極めている	○	その方が出来る事（残存能力）を生かした生活。励ましながら、苦痛を感じないように支援する
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	観察記録に心がけて、スタッフ個々に気づいた事をケアカンファレンスにて話し合う。良い関係を築くことで、ご本人、ご家族の意向を生かしている	○	ご家族にご本人の様子の変化を知っていただくことで、今後の計画作成への参加（意向を聞く）が今以上に出来るように働きかけていく
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調の変化、機能の改善や低下などについては、ご本人、ご家族にもその状態を共有していただきながら、計画の見直しをする	○	ご自宅に帰られた時の様子を聞き、ホームでの様子を伝えることで、今の状態をお互いに詳しく伝え合うことを続けていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	排泄・水分・バイタル（血圧など）については、時間を追って1日の流れの中でその方のリズム・ペースが分かるよう記録している。日常の様子や変化をできるだけ細かく記録し、気づきについても伝え合っている	○	今後のケアプランに生かせるような記録に心がけ、その方の様子や暮らしぶりが読み取れるような内容も大切に残していきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	他の法人内のグループホームでの運動会の参加させていただき等、柔軟な支援を行っている	○	近隣のホームでのイベントや行事に参加させて頂いたり、当ホームへも参加して頂く等、要望に応じていきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	文化的な事についてはボランティアをよく利用させていただき、（唄・絵画展・菊花展等）支援している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご家族やご本人の意向及び必要に応じて理美容を利用し、支援に努めている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は必要がなく協働していないが、今後必要性が出てきた時には協働して取り組みたい		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	往診時の様子、指示などについてはその都度ご家族に伝えていく。ご本人の様子を細かく医師に伝えることで、常にお互いの意識を共有できる
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	入居者側の意向を受け、今後も希望があれば、在宅（ホーム）ケアについても支援できる態勢を整えていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師の指示をいただきながら、最後まで、その方らしい日々が過ごせるよう、支援を行える態勢作りをしていきたい		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化が、認知症の方にとって大きな弊害になることをご家族にも伝えることで、その方の淋しさを戸惑いを共有しながら、心のケアを大切に支援するよう心がけている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	その方の生活環境や地位、性格を正しく理解した上で、失礼のないように声かけ方法や、対応を行えるよう心がけている		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	スタッフとの良い関係を築くことで、思いを伝えやすい雰囲気作りに努めている。ご本人の意思を尊重し、希望を生かした支援に取り組んでいる		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自室にて静かに過ごしたい。話しを聞いてもらいたい。外出がとても楽しみ。などの個々の希望にそって、その方の暮らし方を大切にする	○	介助を要する方が多いので、外出・レクリエーション等に制約はあるが、出来るだけご本人の望みを叶えてあげられるよう努力している

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問美容院は、希望される方のために随時お願いしている。ご本人行きつけの店（理容など）に行くための支援を行っている	○ 汚れたり、汗をかかれた時には着替えをしていただく。 外出時のお化粧品、髪の設定などご本人の希望にできるだけ協力している
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	今日のメニューを知ることで、楽しみに食事を待っていただく。野菜の下ごしらえなど、手伝っていただくよう心がけている。食器洗いなど、お手伝いをしてくださる方には、スタッフが話しながら一緒に行く	○ 今後は今以上に準備（調理・配膳）についても少しずつ出来ることには参加していただけるよう働きかけを工夫していきたい
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	毎晩お酒を飲まれる方には、一緒におつまみの買物にも行くなどの支援をする。好き嫌いについては把握しており、無理強いせず、他の献立に変更できる物については対応している	○ 面会時に届いたおやつ等については、賞味期限などチェックしながら、個別に対応している
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のパターンを細かく把握する事で、失敗を減らすよう誘導、声がけなど行っている。おむつからリハパン、布パンツへの移行を実施している。（ご本人の意向重視）	○ プライバシーの尊重を意識しながらの排泄介助に努めている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調保持、清潔のために少なくとも2日に1回は働きかけている。ご本人の希望や訴えには耳を傾け、気持ち良く入浴していただけるよう対応している	○	入浴時間については、もう少し柔軟に対応できればと考えている。(汚染時はすぐ対応。夜間の入浴など)
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入床時間はその方の眠たくなる時間に合わせている。夜勤スタッフの定期又は随時の見守りにて、安心して休めるよう支援	○	足の浮腫のある方や、車椅子にて日中を過ごされることの多い方については、ご本人の意向や様子により、昼寝など支援している
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物の整理。食器洗い。花を生ける。その他、日常中でのお手伝いなど、声かけしてお願いしている	○	個人的には、ぬり絵・日記・ゲームなど、その方の希望や特技を生かした趣味を持っていただくよう働きかけている
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族より預ったお小遣いについては、小遣い帳として収支を明確に記録した物を月に一回報告し、使い道などを知っていただく。買物に出かけた際には、ご本人の意思を尊重し選んでいただく	○	どうしてもご自分で所持を希望される方については、紛失、しまい込みの可能性をご家族に説明、了解を得た上で、小額を所持していただく場合もあり
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物、散歩、ドライブの機会をできるだけ多く持てるよう努めている。他階のスタッフとも協力し、散歩など天気の良い日は努めて外気浴を行う		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食を希望される方には、ご家族との連絡をとらせていただき機会を持てるよう協力している。身内の方のお見舞いなど、ご本人の希望があるときは、ご家族に了解を得て支援する協力をしている	○	奥様の入院されている病院への月1回のお見舞いのための外出支援を計画中。以前に暮らされていた場所や、近所の方に逢いたいなどの希望もあり、対応検討中


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と話されることで落ち着かれる方も多く、希望があればいつでも電話が出来るよう努力している。ご家族よりの手紙については、読み聞かせなどの支援もしている	○	ご本人に手紙を書いていただけるように、働きかけをして、ご家族、大切な人との交流を持っていただくよう支援していきたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	プライバシー尊重の意味も大切にし、知人・友人についてはご家族の許可を事前にいただいた上で、ゆっくりお話をされるなどの機会を作っている	○	常に訪問しやすい雰囲気作りに心がけていきたい
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	随時、積極的に研修などに参加し、知識を得た上で、拘束のない介護に努めている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関・フロア入口については、日中は常に開放している。居室はいつでも自由に出入りができるよう鍵はかけない	○	近隣の方々との交流面からも、訪問しやすい開放的な雰囲気作りを努めていきたい
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は過ごされる様子の見守り。夜間は定期的な巡視などに努めている（状態、体調によっては随時）。訪室する際は、ノック又は声かけをするよう努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミ・カッター・耳かき・爪切りなどについては、本人の訴えによりそのつど手渡し、又は介助にて使用していただく。湿布薬・耳かき等については、ご自分で対応できる方は持っていたいでいる		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日中の様子見守り、移動のための介助・見守り、食事中的見守り等、常に気を配っている。事故の可能性を意識し、スタッフ全員でその方の行動パターン等を共有し、未然に防ぐ努力をしている	○	転倒防止のための脚力強化・食事前の誤嚥防止体操を行い、スタッフの救急講習参加による対応努力をしている
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変・事故発生時の対応マニュアルを作成し、スタッフがスムーズに対応できるよう備えている	○	救急講習についても、一度限りではなく、毎年又は1年おきに全員が受け、急変時対応の意識を高めている
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム全体で火災時の避難訓練を行っている。階ごとに、入居者の特徴や状態に合わせた訓練を定期的に行っている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	個々の病気、障害をよく知った上で、その特徴や危険の度合いについてご家族に説明し、その情報を正確に知っていただいた上で、できるだけ楽しく自由な生活を送っていただけるよう支援に努める	○	ドライブ・散歩など、日常的に外出されることの気持ちよさを体感していただき、室内にこもる生活ばかりではない生活を楽しんでいただきたい。それが生きる意欲にもつながるので。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の生活ぶりの見守りを細かにすることで、異変の早期発見に努めている。気付いた変化はそのつど連絡・報告・記録に残し、医師の指示のもと適切な対応をしている	○ ご本人の持病・体質なども理解し、常に気を配り、異変に早く気付けるよう努める。異変時の対応についての知識も全員が共有する
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ全員が薬の内容を理解することで、服薬の正確で確実な支援に努めている。変薬、その日の体調に合わせて、調整が必要な場合は、リーダー・医師に連絡、相談し、指示通りの調整を行う	○ 状態の改善により、薬の必要量の調整が望まれる場合は、医師との相談の上指示のもと、減薬に努める。今以上に薬についての知識を深め、副作用等についても理解していく
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェックは細かく記録し、その人に合わせた支援方法により、気持ちの良いスムーズな排便ができるよう対応している。水分補給の他、体操・歩行練習など、運動不足にならないよう努めている	○ 医師に相談し、スムーズな排便のための下剤等の使用方法についても指示を仰ぎ、調整を行っている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床・入床時には義歯を外し、歯磨き・消毒など口腔ケアを実施している	○ 毎食後の口腔ケア、舌の清潔にも気を配っていく。食事中はむせ込み、飲み込みの状態について細かくチェックしている
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の時の水分（汁・お茶・服薬の水）を細かくチェックし記録している。1日の水分量をチェックし、十分な量が摂れるよう支援している。栄養に配慮したメニューによる配食を行っている（カロリー調整含む）。その方に合わせた形態（キザミ・トロミ・ミキサー食）も実施	○ 好き嫌いにも出来るだけ対応して元気に過ごせるよう配慮している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	予防接種実施・・・インフルエンザノロウイルス予防・・・毎晩夜勤帯にフロア・トイレ内の掃除、消毒。汚物は朝・夕2回室外収集場所へ持ち出している。日中、居室・手すり・床などの清潔に気を配っている	○	感染症についての知識を深め、対応方法・予防に努力していく。現在も行っているが、室内・室外・個室内の清潔に今以上に注意する
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	お刺身等は鮮魚店から一人前ずつパックにセットしていただき、ホームでは扱わないようにしている。調理器具や布巾等もジアノックや熱湯などで消毒をしている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中は常に開放している。玄関前、入口付近に花を置くなど、季節感を出す工夫をして、家庭的な雰囲気作りに気掛けている	○	近所の方がホームに気軽に遊びにきていただけるような雰囲気作りの努力、声かけなどに努めたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	衛生にばかり気が取られることなく、花を飾るなど、居心地も良くなるよう心がけている。自室に閉じこもることなく、リビングをゆっくり出来るような場所になるよう心がける	○	季節感がある暮らし。その方らしさの感じられるお部屋づくり
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングと食堂が一緒になっている部屋の構造ではあるが、コーナーにソファを置くなどして、ゆっくり過ごせる場所づくりに努めている	○	食事テーブル以外の場所を作り、ゆっくり趣味が楽しめるような場所の提供ができれば・・・。と考えている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	使い慣れた椅子・壁かざり・家具などの持込について、家族にもお願いしながら、家に居るような安心感を持っていただけるよう支援したい
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	○	浴室内、脱衣所については手すりを取り付けた、色の工夫をすることなど考慮中
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	間違っって他の方の部屋に入れようとされることもあるが、優しく声をかけることで、誤解や失敗を防いでいく
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	敷地内に憩いの場を作る準備をしている（花壇・ベンチなど）。洗濯物干しを増やし、入居者と共に干したり、取り込んだりできるようにする（2F、3F）

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

フロア理念は「その人らしさを大切に、優しい心で接します。笑顔でつなぐ幸せの輪」です。 スタッフ全員がそれぞれの思いを持ち、入居者の皆さまのために何ができるか